

前橋市子ども会スマイルボウリング大会

第3位（江田町チーム）おめでとうございます。



前橋市子ども会スマイルボウリング大会（令和8年8月22日（土））滋野堤水堂宮城体育館にて開催）で東地区子育連の代表として出場した6チームのうち江田町チームが、みごと第3位になりました。  
「1位になれなくて悔しかったけど、チームで協力して3位になれてよかったです。チームのみんなで楽しく試合ができてうれしかった。」と感想をいただきました。

青少年夏休みチャレンジ教室

7月25日（土）

「算数から数学へ」素数の不思議な世界へ寺子屋スロー数学」



講師は、群馬工業高等専門学校 名誉教授 斎藤斉氏をお招きし、「算数から数学へ」素数の不思議な世界へ」について学習しました。  
小学3年生から大人まで幅広い世代の参加があり、素数の不思議な世界に触れることができました。

7月29日（水） 8月5日（水）

「子ども将棋教室」



講師は、田村盛好さん、坂部光夫さんをお招きし、将棋教室を行いました。  
初心者から経験者まで多くのお子さんが集まりましたが、どんな対局でも、真剣に、将棋を指していました。

7月31日（金）

「アートをしよう。工作をしよう。」



今年は群馬県立近代美術館の職員の皆さんに講師をお願いしました。名画の複製画ポスターを多数ご用意いただき、作品の見方を教わり、参加者個人の感想を発表しました。  
ミニワークショップではキュービックパズルを作成しました。色を塗り、個性的な作品が仕上がりました。絵合わせも簡単にはできない仕組みになっていて、参加者は大いに盛り上がりしていました。

8月4日（火）

「絵画を仕上げよう」

8月7日（金）



講師は、今年度も群馬医療福祉大学の学生さんをお招きし、子ども達の絵を描くお手伝いをしていただきました。  
講師の皆さんがとても丁寧に優しく接して下さり、子どもたちも集中して、とても素敵な作品を仕上げていました。

前橋市老人クラブ連合会 輪投げ大会



優勝（稲荷新田町シニアクラブ）おめでとうございます。



9月3日（木）前橋市老人クラブ連合会輪投げ大会がヤマト市民体育館前橋にて開催されました。  
東地区老人クラブ連合会の代表として出場した4チームのうち、稲荷新田町シニアクラブが優勝、川曲町友悠クラブが第9位となり県大会出場権を獲得しました。



川曲町友悠クラブ



西箱田長寿会



下新田町長寿会

東地区の歴史と地名

前箱田（まえはこだ）（その一）

前橋台地の利根川右岸西方に位置し、滝川が東縁を南流する。地名由来は条里制水田に係るものと思われる。

「近世」前箱田村

江戸期より明治二二年の村名。群馬郡のうち。はじめ総社藩領、寛永一〇年高崎藩領、のち前橋藩領を経て、再び高崎藩領となる。「郡村誌」によれば、元禄一〇年箱田村から分村したという。「寛文郷帳」「元禄郷帳」ともに村名が見えず、村高は、「天保郷帳」で一三〇石、「旧高旧領」も同高。鎮守は稲荷神社。  
幕末の改革組合村高帳では、倉賀野宿寄場組合に属し、高一三〇石余、家数一九。「郡村誌」によれば、戸数二一・人数九五（男四九・女四六）、馬九、物産は繭四石余・生糸一貫余・太織三五匹で近隣の町へ送るとある。

「近代」前箱田

明治二二年より昭和二九年の東村の大字名。明治二四年の戸数二二・人口は男六一・女六七。

「近代」前箱田町

①昭和二九年より現在の前橋市の町名。昭和四一年一部が前箱田町二丁目となる。同年頃から宅地化が進行して人口が増加する。同五八年に開校した箱田中学校建築に先立ち同五七年から前箱田遺跡を調査し浅間山噴火による浅間B軽石層（天仁元年）が堆積した条里水田跡、同六〇年から箱田境遺跡を調査し条里水田跡が発見されています。

②昭和四一年より現在の前橋市の町名。二丁目がある。もとは前箱田町の一部。平成一四年三月末現在、前箱田町と同二丁目を合わせて、六六七戸、一、八二〇人。

小字名の変遷

前掲出の「古市町の地名」中の「小字名の変遷」を御参照下さい。

前箱田村の字名（江戸期からの地名）県立文書館所蔵・明治六年の地籍図より屋鋪（やしき）

中心集落で家のある地。明治九年の地租改正時に、屋鋪と屋鋪前と樋越・稲荷の一部を併合して、宅地添と改名して消滅。現地の範囲は、滝川の西、箱田町の南で旧道に面した所。

屋鋪前（やしきまい）

屋鋪の前（南）にある地。地租改正時に、屋鋪と屋鋪前と樋越・稲荷の一部を併合して、宅地添と改名して消滅。現地の範囲は、新前橋駅・川曲線の東で備前堀の北。

村西（むらにし）

中心集落（屋鋪）の西方にある地。地租改正時に、稲荷の一部（北部）を編入。一部を昭和四一年前箱田町二丁目に編入。現地の範囲は、新前橋駅・川曲線の西で、前箱田町二丁目の日本精工アパートの北から東道付近まで。

館報編集委員 小池 照一

前箱田村の小字（明治6年）  
（県立文書館所蔵・地籍図より作成）

